

## 第3学年 社会科学習指導案

日 時 平成26年11月10日(月) 第5校時  
学 級 3年A組(男子23名、女子14名)  
授業者 教諭 吉田浩之

### 1 単元名 財政と政府の役割

#### 2 単元について

本単元は、学習指導要領社会編【公民的分野】の内容「国民生活と政府の役割」に関わり、私たちの生活と経済により関心をもたせたいと考えたこと、財源の確保と配分という観点から財政の役割について学ばせたいということで本教材を設定した。

具体的には、身近な消費生活の中の納税を中心に我が国の経済活動の特徴をとらえ、私たちが豊かな生活を実現できるよう、納税、経済のしくみについて考えることができる教材である。

また、市場経済において個人は税を考慮しつつ、何をどれだけ生産・消費するかに関わり、人的、物質的資源を効率よく配分する役割があること等、市場経済の基本的な考え方を育成するために迫りうる単元だと考える。さらに、国の三権に関する土台を中心に、より身近な地方公共団体に目を向けることにより、財政と政府の具体的な事例を通して租税の役割を中心に、年々増加する国債と社会保障制度の問題、過疎化に対する少子高齢化に対応するために、これからどうあればよいのか国会・地方議会、国・地方公共団体、国民・企業等、様々な役割を通して自分たちは何をすべきかについて考えようとする力をつけ、単元の学習を通して税金により関心を持ち、自分たちの地方自治に主体的に関わろうとする意識を育てたい。

#### 3 生徒について

授業に意欲的に取り組む生徒が多いが、若干落ち着きに欠ける生徒も見られる。学級の半数である17名の生徒は公民的分野への関心・意欲が低かったが授業をすすめるなかで意欲的に取り組むようになってきた。しかし、政治や経済という言葉に対する反応は決して良くはないが、新聞・テレビのニュース等を用いながら授業を進める中で、日常の学習に対しては全体的に意欲を持って取り組んでいる。

この単元で学習することは、財政と政府の役割に大きな意味をもつ税について学ぶわけであるが、生徒の中でも、特に関心の高い消費税等を中心に考える機会を設定し、思考力・判断力・表現力を育成したい。税に関しては各家庭においても、話題となるところであり、今後、確実に取り組まないとこれからの社会を大きく左右し、未来に影響を与える問題でもある。また、納税の義務というのは、生徒の視点から言うととらえにくい点がある。そのため、世の中の諸問題をとらえなおすために、発問を工夫し意欲をもって、広い視野で考えようとする態度を身に付けさせ、関心・意欲を高めたい。

#### 4 単元の指導目標

- (1) 公共財の供給、所得の再分配、経済の安定化という3つの役割を具体的にとらえ、課題を意欲的に追究させる。【社会的事象の知識・理解】
- (2) 租税には効率性と公平性の問題があることに気づき、納税の意義、税金を納めることの意味について考えさせる。【社会的な思考・判断・表現】
- (3) 財政赤字など政府が抱える課題とその取り組みについて考えさせ、消費税を通して少子高齢化への対応や環境の保全、日本経済の発展など、経済上の国の借金について理解させる。【資料活用の技能】
- (4) 経済の安定のために、政府や日本銀行が行う、経済政策について理解させ、どのように行われるべきかを理解させる。【社会的事象への関心・意欲・態度】

## 5 単元の評価規準

観点 単元名	観点1 関心・意欲・態度	観点2 思考・判断・表現	観点3 資料活用 of 技能	観点4 知識・理解
単元1	財政政策に関心を高め、そのしくみについて考えようとしている。	政府の経済活動を表す財政のしくみについて考察したことを説明している。	日本の所得格差の変化や諸外国と比較した日本の財政の課題に集めた情報から適切に読み取っている。	三つの役割を具体的に理解し、その知識を身に付ける。
単元2	税金の種類とそれぞれの特徴について関心を高め、暮らしと関連づけて考えようとしている。	租税を納める意味と租税に関わる問題点や課題について効率性と公平性の視点から考察し、自分のことばで表現している。	収集した資料の中から日本の消費税のしくみの特色を読み取っている。	国税と地方税、直接税と間接税、累進課税など税金の種類について理解を深め、その知識を身に付けている。
単元3	政府が抱える課題とその取り組みについて関心を高め、今後の財政の在り方について考えようとしている。	国債の発行残高が今後も増え続けていく場合に生じる問題点について考察し、その解決に向けた提案を自分のことばで表現している。	国・地方の歳入・歳出から税金の使われ方や国・地方の関連性について読み取っている。	政府と地方の財政における関連、国債残高が増え続ける背景やその解消のための取り組みについて理解し、その知識を身に付けている。
単元4	日本の経済成長率やGDPの変化などについて関心を高め、自分の生活との関連性を見いだそうとしている。	好況や不況、インフレ、デフレなどが国民に与える影響やそのために行われる経済政策について考察し、考えたこと、まとめたことについて自分のことばで表現している。	財政政策のしくみにかかわる資料などから政府による経済政策の内容について読み取っている。	好況や不況、インフレ、デフレ時の自分たちの生活への影響、財政政策、金融政策について理解し、その知識を身に付けている。

## 6 単元の指導計画

時	指導内容
第1時	・公共財の供給、所得の再分配、経済の安定化という3つの役割を具体的にとらえ、課題を意欲的に追究させる。
第2時	・租税には効率性と公平性の問題があることに気づき、納税の意義、税金を納めることの意味について考えさせる。
第3時 (本時)	・財政赤字など政府が抱える課題とその取り組みについて考えさせ、消費税を通して少子高齢化への対応や環境の保全、日本経済の発展など、経済上の国の借金について理解させる。
第4時	・経済の安定のために、政府や日本銀行が行う、経済政策について理解させ、どのように行われるべきかを理解させる。

## 7 本時の構想

### (1) 本時の目標

- ・消費税の意味について考え、理解できる。

### (2) 研究に関わって

視点1 「「単元及び1時間単位の指導目標（到達目標）を明確にした指導の工夫」について

- ・個人の考えをグループ内で広げることにより、到達目標に対して、話し合いながらできる限り、近づけるように発問を設定する。その目標に向けての単元の指導構成とする。また、1時間単位の指導目標を確認する場を設ける。

視点2 「学ぶ意欲を喚起する学習課題の工夫」について

- ・消費税を題材とし、個人に責任をもたせた言語活動を行うことで、生徒の学ぶ意欲を喚起する。

視点3 「学習課題に即した言語活動の工夫」について

- ・グループを作り、個人の意見をすりあわせながら話し合わせる。その後、説明できるようにする。

視点4 「次時へ意欲をつなぐ、ふり返りの場の設定」について

- ・授業の終わりに「学習チェックシート」で自己評価させる。また、授業者から授業についてコメントする。

### (3) 本時の評価

具体的評価規準 評価の観点	A：十分に満足できる	B：おおむね満足できる	Cの生徒への手立て
社会的な思考・判断・表現	消費税の役割について具体例を用いて表現することができる。	消費税の値上がりについて、説明することができる。	学校で使われている税金についてヒントを与える。

(4) 本時の展開

	学習内容	学習活動	形態	指導上の留意点（・） 評価（○）
導入 8分	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学習チェックシート」を確認する</li> </ul>	一斉	<b>視点1</b> 「学習チェックシート」で学習内容を確認する。
展開 36分	<b>学習課題：なぜ消費税はあがったのか</b>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>税の種類・内容の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人で学習課題を把握し、予想を確認する。予想を何人かの生徒に聞く。</li> <li>個人で考える。（3分）</li> <li>集団で考える。（5分）</li> <li>役割を決めてすすめる。  役割（1）司会者  （2）記録者  （3）発表者</li> <li>記録者は用紙に個人の考えを大切に、まとめながら、書いていく。</li> </ul>	 個  ペア  グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の反応を大切に、対話を心がける。</li> </ul> <b>視点2</b> 学習課題を工夫することで学ぶ意欲を喚起する。 <b>視点3</b> 個人に責任をもたせることで、必然性のある言語活動とする。 ○自分の言葉を用いて表現できているか。 <b>（用紙）</b> ○どのような内容の文章を書いているか。 <b>（観察）</b> ・机間巡視をし、個別に助言する。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめたことをグループ毎に発表する。9グループの発表（各グループ発表時間1～2分）ワークシートを配り、6つの場面を班で分担する。</li> <li>直接税には累進課税があり、所得に応じて税率が異なるが、消費税は所得に関係なく納入しなければならないので、税の負担者が公平になるために直接税と間接税があることを確認する</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>次時に暗記テストを行うことを予告する。</li> </ul>
終末 6分	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価</li> <li>次時の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>わかったこと、疑問に思ったことなどを記入する。</li> </ul>	個	<b>視点4</b> 「学習チェックシート」に記入させ、授業者が授業についてコメントする。